

受講番号 19033 学校名 高知西高校 氏名 川口 多喜美

研究の背景

研究対象(学年、クラス等) 3年1・2H 生徒数 21 名
科目名 Writing 単位数(授業時数) 2 時間 使用教科書名 Exceed English Writing

クラスの様子・特徴

普通科6クラス中、2クラス設定されている「ダブル・ドート」(国公立コース)の習熟度の下位クラスである。素直で真面目、学習意識も比較的高い。指示された課題には真面目に取り組むが、英語に対する苦手意識が強く、学力は決して高くない。

問題の確定

時制やSVOCの決め手となるのは動詞である。日本語においては文末に、英語においては主語の次にくることを徹底指導する。

予備調査

A 授業の観察

非常に真面目でおとなしく、人前で間違ふことを極端に恐れている。答えに自信がないとき、容易に「わからない」を連発する傾向があったが、問題を前もって当てておき、間違っていないので自分なりの答えを出すように指導することができた。

B 生徒による授業評価

概ね良好である。今年になって初めて受け持ったクラスであり、最初の1ヶ月位は、お互いに硬さが見られたが、徐々に打ち解け、質問しやすい授業の雰囲気を作れた。

C 学力データ

4月課題テスト平均45.5点(全校平均55.3点)、前期中間テスト76.6点、前期末56.1点、後期中間テスト42点。進研マーク模試偏差値平均45.3。英語が嫌いというわけではないが、苦手意識を持っている。

リサーチ・クエスト

基礎的な語彙や文法を定着させ、正確な英文を書く力を育てるためにはどうすればよいか。

仮説・実践・検証

仮説1

日本語を英語にすると、文末の動詞を参考にし、どの時制を使うかを意識するようになれば、時制を正しく表現できるようになるだろう。

実践1

英作文を作らせる時に、常に時制を意識させるために、時制を言わせ、それから、日本語のSVOCを決め英文を書くよう、指導を徹底する。時制の意識が定着することにより、生徒の苦手な語句整序問題の正答率が上がった。

検証1

英作文を作る際に、時制を意識させ、SVOCを意識するよう徹底すれば、語句整序問題ができるようになるのではないかと思います。センター試験の問題集の語句整序問題を実施した。しかし、文法事項を複数理解していないと解けない、あるいは、熟語力が不足している等の理由からほとんど解けないという挫折感を味わってしまった。もっと基礎的な時制やSVOCを意識した問題を出題すると正答率は8割まで上がった。

仮説2

日本語にSVOCを書き、英文に直せばSVOCを正しく使うことができるだろう。

実践2

英文を作る際に、時制の次に動詞を決定する必要がある。日本語の動詞は文末にあるので、そのことを徹底し、次のその動詞がどの文型をとるのか考えさせたあと、英文を作る習慣をつけさせた。その結果、意味の通る英文が書けるようになった。

検証2

問題集のappendixにまとめとして、語句整序問題と英作文問題があったので、それを授業の最初の7分間、毎回実施した。その際、2パートに区切り、前回間違えた問題と新出の問題を解くという方法をとった。正答率は決して高くはなかったが、白紙の答案は減り、SVOCを意識した解答が増えた。また、家庭学習の跡もみられるようになった。

仮説3

基本的な語彙力で十分意味が通る英文が作れることが実感としてわかれば、英作文に対する抵抗感が減るだろう。

実践3

(ReadingとWritingの双方授業を担当しているので、Readingの授業も使うことにした。)毎時間、Readingの授業の前に単語テストを実施することによって語彙力が上がった。また、ライティングの授業のときに、和英辞典をできるだけ使わず、既習の簡単な英単語を使用して英文を作ることができるという達成感を味わせることができた。その結果、英作文に対する苦手意識を多少なりとも克服することができた。

検証3

Readingの授業で毎回単語テストを行った。その結果、単語を覚える必要性を認識し始めた。以前は真面目な生徒が授業の直前に覚えようとしているだけだったが、11月頃から取り組みが非常によくなり、単語帳を作って覚えるなど、自主的な取り組みがみられるようになった。また、以前は「わからない」と簡単に投げ出す生徒が若干名いたが、最後まで英作文に取り組むことができるようになった。

研究の成果

Readingは英単語力があれば、85%位は内容が理解できると思う。しかし、英作文は、文法力が必要になってくる。生徒はそういった切り替えができず、試験の前になんとか覚えているようだ。そのため、本校では、センター試験の語句整序問題が非常に苦手である。そういった弱点を克服するため、今回アクションリサーチを行い、全員が語句整序問題を常に満点をとる指導をしたつもりであったが、残念ながら芳しい結果は得られなかった。正確な文法力、豊富な語彙力も必要だと思う。

今後の授業改善の課題

自分が伝えたい文章を英語に直す際に、時制とSVOCがある程度正確でないと意味不明な英文になってしまう。今後もこの2点を重視した指導を続けたい。ただ、語句整序問題を授業中に解かせても、生徒は自分の間違いに気づかないこともわかったので、今後、英作文の指導をするときは、定期的に自由英作文を書かせて、間違った部分を自分で気づかせ、正しい英文を書くという指導するつもりだ。

リサーチについての問合せ先:

職場電話

088-844-1221

電子メール